

第2回旭区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事要旨

日 時	令和3年5月12日（水）10時5分～11時53分
開催場所	旭区役所大会議室（新館2階）
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長：相澤 一喜（旭区医師会代表）</p> <p>委員：豊田 宗裕（聖徳大学心理・福祉学部社会福祉学科教授）</p> <p>中野 文雄（旭区老人クラブ連合会会長）</p> <p>中村 広子（旭区地域子育て支援拠点運営法人代表）</p> <p>仁科 美奈江（めばえ会親の会代表）</p> <p>馬場 正男（税理士）</p> <p>真鍋 貴子（旭区社会福祉協議会ボランティア分科会会長）</p> <p>峰松 雅子（旭区民生委員児童委員協議会会長）</p> <p>【事務局】</p> <p>福祉保健センター：亀井センター長</p> <p>福祉保健課：石津課長、武島係長、緒方、小林</p>
欠席者	なし
開催形態	一部非公開（応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答は、応募団体関係者を除き公開）（傍聴者なし）
議 事	<p>1 事務局説明</p> <p>(1) タイムスケジュールについて</p> <p>(2) 採点のしかたについて</p> <p>事前の書類審査と本日の面接審査を総合的に勘案し、各項目について5段階で評価を行う。</p> <p>(3) 選定条件について</p> <p>最低制限基準の60%を満たす必要があること。</p> <p>2 地域ケアプラザの指定候補者選定</p> <p>(1) プレゼンテーション及び主な質疑応答</p> <p>横浜市笹野台地域ケアプラザ</p> <p>応募団体：社会福祉法人秀峰会</p> <p>[プレゼンテーション]</p> <p>応募団体から、法人概要及び事業計画等について説明を行った。</p> <p>[主な質疑応答]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ流行以降、人とのつながりづくりが難しくなった現状を踏まえ、地域の課題と3～5年後を見据えた取組の姿勢について教えてほしい。また、現在の取組について地域の反応は。 →新型コロナ流行後、高齢者の認知症が進んだ、久々の外出で転倒し介護保険の利用を始めた、家で看取りたいといった相談が増えた。 ケアプラザでは場づくりを続けていきたい、感染対策のうえ事業を実施できるよう心掛けている。開けた場所で会う機会である移動販売もそ

の一つ。それでも外出を控える方に対しては、オンラインでのつながりに向けた働きかけも始めた。また、3～5年後に「外出がなかなかできない」という状態にならないよう、介護予防の出張講座を地域で実施している。

これらの取組には地域から良い反応を得ている。介護予防講座は、地域で联合会館等の場所が使えなくなったことを受けて希望者が増加。移動販売は、買い物だけが目的ではなく、人と会う機会となり喜ばれている。

・オンライン化、リモート化の導入については、ケアプラザでの講座のほか、家での設定のフォロー等はしているか。

→現在は講座を始めたところで、自宅でのサポートまでは至っていない。ケアプラザでは、今後ボランティアが自宅を訪ねて機材設定のサポートをするといったフォロー体制を構築できればと考えている。

・高齢の利用者で、「Zoom」に関心を持つ方は多いのか。

→70代、80代の方でも、興味を持って「オンラインでつながってみたい」という方がいる。

・移動販売における利用者のサポート体制は。

→重いものは店側で運搬のサポートをするほか、地区社協のボランティアが手伝おうという姿勢がある。

・地域に障害関係の施設があると思うが、障害児・者からの相談事例があるか。

→成人の方からの相談があり、事業や関連機関へ繋いでいる。子どもの事例は、通学支援につながるなど個別の事例はあるが、アウトリーチはこれから強化していきたい。

(2) 審査結果

横浜市笹野台地域ケアプラザ

応募団体名	総得点
社会福祉法人秀峰会	1,781点

※満点 2,400点 (委員一人あたり 300点×8名)

※最低制限基準 1,440点 (満点の60%)

以上より、次のとおり指定管理者の候補者を選定する。

・横浜市笹野台地域ケアプラザ

指定候補者：社会福祉法人秀峰会

(3) 講評

委員を代表して委員長が講評を行った。応募団体について選定委員の評価が高かった項目を紹介。

・社会福祉法人秀峰会

「運営ビジョン：地域における地域ケアプラザの役割」

「法人の状況：財務状況」

	<p>「職員配置・育成：育成・研修」等</p> <p>(4) その他 上記の選定結果を区長に報告する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--